

飼料価格高騰対策緊急支援事業

(R6.12補 403,543千円)

事業概要

飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫しているなか、配合飼料の使用量削減に取り組む畜産農家に対し、飼料価格高騰額のうち農家負担分の一部を支援する。

奨励金交付単価

交付対象数量

配合飼料:4,600円/トン以内

岐阜県内で飼養している家畜に給与する配合飼料のうち、令和6年10月から12月の3か月分
配合飼料価格安定基金の契約数量又は補填対象数量に応じて交付

事業実施主体

岐阜県畜産協会、岐阜県酪農農業協同組合連合会

配合飼料の使用量削減に資する取組

下記の取組から、1つ以上取り組むこと

| 取組事項 | 取組内容 |
|------------|--|
| ①自給飼料生産の拡大 | ・草地造成等を行い、生産基盤を拡大する。 ・自給飼料の作付面積を拡大する。 ・奨励品種を活用し、単収向上を図る。 |
| ②飼料用米等の利用 | ・自家配合等により、国内で生産された飼料用米・子実トウモロコシを利用する。 ・稲WCSを利用する。 |
| ③エコフィードの活用 | ・エコフィード等未利用資源を飼料として利用する。 |
| ④公共牧場の活用 | ・公共牧場等を活用し、放牧を行う。 |
| ⑤飼料効率の向上 | ・アミノ酸・乳酸菌など飼料添加物を使用等により、飼料効率を向上する。 |
| ⑥飼養頭羽数の縮小 | ・早期出荷や畜舎空舎期間の延長等により、一時的に飼養頭羽数を縮小する。 |
| ⑦その他の取組 | ・上記①～⑥以外で、事業参加者が配合飼料の使用量削減につながる独自の取組を行う。 |

事業の流れ

